

気候変動 × 防災フォーラム

～世界中の気候変動を当事者目線で考え、身近に感じる～

日英同時通訳

参加費無料

日時 令和6年3月10日(日) 14時00分～16時30分

会場 国際健康開発センター9階 国際会議室
(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1)

開催方法 ハイブリッド方式(対面・オンライン)

プログラム

(第一部)

14:00-14:05 開会挨拶 リンダ・アン・スティーブンソン APN事務局 プログラムディレクター

14:05-15:05 基調講演 「気候変動をもたらす気象災害と身近な環境への影響」
谷口 博
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授

15:05-15:15 休憩

(第二部)

15:15-16:25 海外事例紹介 「モンゴルにおける気候変動の影響および遊牧・牧畜システムの適応の選択肢」
スバダンツエツエゲ・バルタ
モンゴル科学アカデミー 運営企画・国際協力部門長

ファシリテーター:

馬場 美智子

兵庫県立大学大学院

減災復興政策研究科 教授

「海面上昇から洪水やサイクロンまで：フィジーおよびサモアのマルチハザードリスク環境の課題」
アーンドレーウス・ニーフ
オークランド大学(ニュージーランド) 教授

16:25-16:30 閉会挨拶 馬場 美智子 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授

近年、想定を超える気象災害が世界各地で頻発し、「気候変動」はもはや「気候危機」であると言われています。このたび、「気候変動 × 防災」をテーマとし、県民の皆様へ、世界中の気候変動を当事者目線で考え、身近に感じる機会を提供するため、本フォーラムを開催します。

登壇者プロフィール

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授

谷口 博

北海道大学大学院地球環境科学研究科にて博士号を取得後、京都大学防災研究所、海洋研究開発機構、ハワイ大学国際太平洋研究センターなどで研究員として従事。2023年より兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授。専門は気象災害、気象学・気候学、地球流体力学。



兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授

馬場 美智子

立命館大学大学院理工学研究科にて博士号を取得後、防災科学技術研究所、国土交通省国土交通政策研究所などで研究員として従事。2020年より兵庫県立大学大学院研究科教授。専門は都市・地域安全マネジメント、減災土地利用規制、水害後の住宅再建、減災まちづくり。



モンゴル科学アカデミー 運営企画・国際協力部門長

スバダンツエツエゲ・バルタ

環境持続可能性の科学、特に遊牧・放牧適応および牧畜の社会生態学的システムの研究に従事。生態学および応用物理学を専攻、リモートセンシングおよびGISで修士号を取得。慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科にて博士号(環境ガバナンス)を取得。専門分野は、生態学的脆弱性・回復力の研究、地方・地域・国レベルでの気候変動適応および牧畜の社会生態学的システム等。現在は開発・戦略政策研究を中心に取り組み、キャリアを積む。科学的な成果を地方・地域・国の政策立案につなげるよう尽力し、科学に基づく政策立案、地元住民のモンゴル科学アカデミーへの参加を推進。



オークランド大学(ニュージーランド) 教授

アーンドレーウス・ニーフ

オークランド大学(ニュージーランド) 開発学教授。気候変動による移住、移動の正義、気候変動への適応、土地収奪、災害後の対応および復旧の分野で研究、出版に従事。APNが資金助成を行う「同じ場所に留まるための移動：フィジーおよびサモアにおけるジェンダー視点での気候変動リスクに対する適応戦略としてのマイクロモビリティおよび循環移住」プロジェクトの研究主宰者。



本日はご参加いただきありがとうございます。フォーラム終了後、右のQRコードからアンケートにご協力をお願いします。

連絡先

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)

ホームページ: <https://ja.apn-gcr.org/>

E-mail: apnseminar@gmail.com TEL: 078-230-8017

651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館4F

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

ホームページ: <https://drg-u-hyogo.jp/> TEL: 078-891-7376

651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館4F



<https://bit.ly/3I91R0R>